

「みんなちがって、みんないい」…絵を描いてもらいました。

え か
令和2年12月21日(月) 篠原校長

11月の頃でした。小・中学部の子供達に「校長先生からのお願い」として、絵を描いてもらいました。それを学部で立派な掲示物にして、届けてくれました。見ると、素晴らしい発想の作品がいっぱい貼られていました。そして、それぞれの作品に対する友達からの「じょうずに描けていますね」と賞賛のコメントが添えてありました。一人一人の想いと努力が力作となって表現されていて、とても感動しますね。

これからこのコーナーで、紹介していきたいと思います。

実は、この絵の課題は、研修会などで初対面の参観者同士で、絵を介してお互いに褒め合って、緊張をほぐすために用いられるものです。その時それぞれの絵は、発想豊かで個性的な作品ができるので、

「みんな違うけれども、みんな素晴らしい出来映え」になります。

今回の子供達の作品も「みんなちがって、みんないい」出来映えになっています。

校長先生より：芸術の秋です。絵を描いてみましょう。

- このような線があります。これに自分なりにいろいろな絵を組み合わせて、新しい絵を完成させてください。絵は、どの方向から描いても良いです。色をぬっても良いですよ。
- 友達が描いた絵に、感想を書いてあげてください。絵を描いた人が見た時に、気持ちが良くなる感想を、たくさん書いてあげてください。



- 友達が描いた絵に、感想を書いてあげてください。絵を描いた人が見た時に、気持ちが良くなる感想を、たくさん書いてあげてください。



皆さん、どしどし挑戦してください。よろしくお願ひします。

